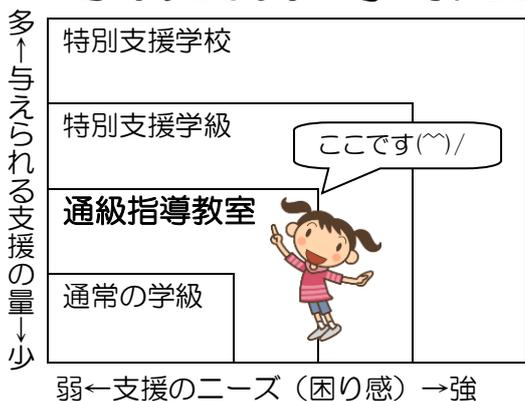


キラリ！築山っ子

本島

通級指導教室って知ってますか？



築山小学校には現在、特別な支援を必要とする子どもたちをサポートするために、特別支援学級が6クラス（2つのタイプで3クラスずつ）あります。特別支援学級については多くの皆さんがご存じかと思いますが、もう一つの学びの場があります。それが、現在私が担当している「通級指導教室」です。保護者の皆さんはもちろん、子どもたちも「何それ？」と思うかもしれません。「ひまわり教室」の愛称で知っている子どもたちもいるかもしれません。

今回はこの「通級指導教室」について紹介します。



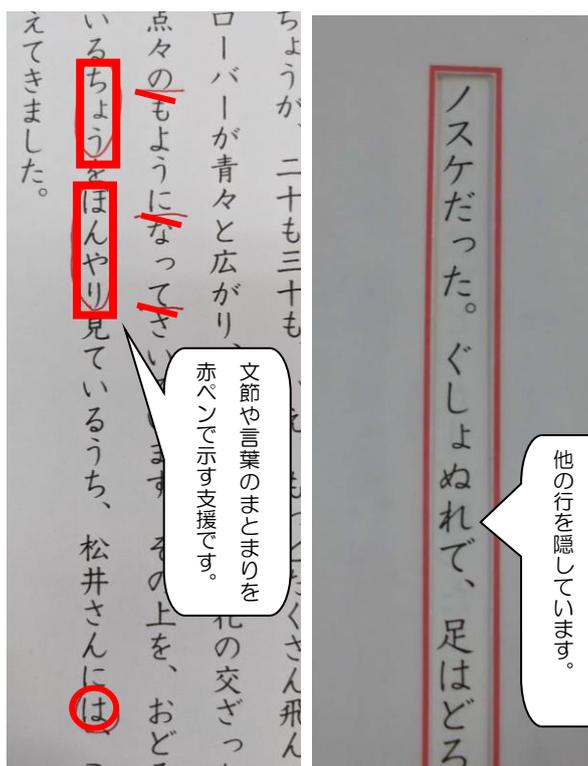
通級指導教室にはいくつか種類があり、「言葉の教室」や「聞こえの教室」といった言語や聴覚に関わる困り感のある子への通級指導教室が近隣の小学校にあります。築山小学校の通級指導教室は「自分にあった学び方を学ぶ教室」「自分の気持ちに気づく教室」とでも言えばいいでしょうか。「勉強になかなか集中できない」「勉強はわかるけど、読みや書き（などの一部）が苦手で、困ってる」「友達と仲良くしたいんだけど、うまく関係を築くことが難しい」といった困り感を持つ子どもたちが月に1～2回、私の教室へ通ってきます。文字通り、自分の学級から通ってくるので「通級指導教室」です。自分の学級があるので、私（本島）はその子どもたちの担任ではありません。

通級指導教室で学習する内容は「学習上または生活上の困難の改善・克服を目的とした指導」である「自立活動」と言われるものです。ですので国語や算数を勉強するわけではありません。「学び方を学ぶ」ということで考えると、昨年も紹介しましたが「読み」が苦手な子どもたちへの支援が色々あります。

例えば、音読をされていて区切りがわからない、単語として認識できていない、助詞を勝手に変えて読んでしまう…など、読みの不安定さがある子どもには「文節や言葉のまとまりを赤ペンで示して強調する」といった支援を行います。



読むべき行以外の行が見えすぎて、読み飛ばしてしまったり、途中で他の行に行ってしまう子どもには「リーディングスリット」の使い方を練習します。「読むためのすき間・小窓」といえばいいでしょうか。しおりのような形で、教科書1行分のすき間が空いています。他の行が見えないので集中して読むことができます。



右の写真のようなボカペンやデージー教科書は「読み上げ支援」と言われます。話を聞いて理解することはできるけれど、文を読むことが難しく内容をつかむことが苦手…といった子どもに適しています。

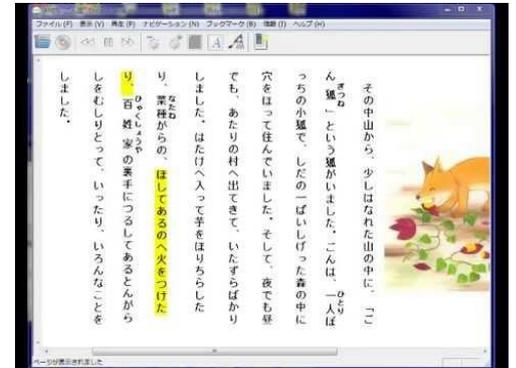
ボカペンは教科書以外の文章も録音さえすれば子どもたちが聞くことができるので、これまでテストで、「問題文を読むだけで時間が終わっていた」「文章を読むのが苦手なので、問題が解けなかった」などという子どもが問題を音声としてつかむことで内容を理解し、テストの成績が上がった…といった事例が他校ではあるようです。



VOCA-PEN (ボカペン)

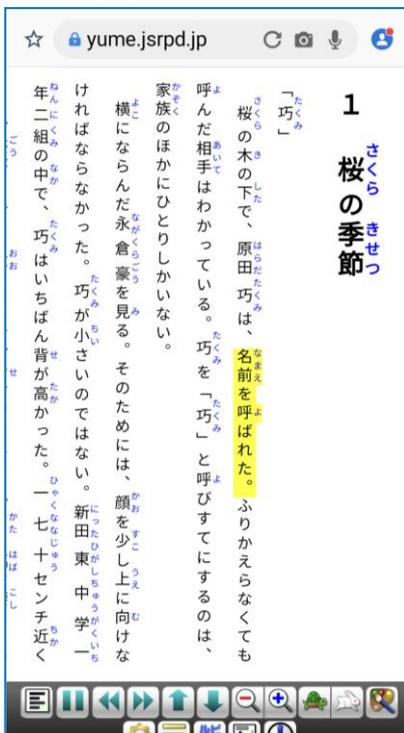
マルチメディアデージー教科書は、日本障害者リハビリテーション協会というところが提供しているもので、学校関係者に限らず誰でも（保護者の皆さんも）ネット上で申請することができ、無償です。

一度申請が通ると、パソコンでもタブレットでもスマホでも読む（聞く）ことができます。さらに「デージー子どもゆめ文庫」（左下の写真）というサイトもあり、こちらは一般の図書を読み上げてくれます。玉名市民図書館の電子図書館でも「オーディオブック」というサービスがあるようです。



マルチメディアデージー教科書

特別支援学級では大型テレビに映し出して、みんなで音読しているところもあります。



デージー子どもゆめ文庫（スマホ画面）
「バッテリーⅡ」（あさのあつこ）

「読み」が難しくても「音声」で入力すればしっかり内容理解ができる…は、映画俳優のトム・クルーズさんの事例でも有名ですね。彼は「読字障がい」ということですが、セリフを録音してもらい、聞いて覚えることで大きな成功を収めています。「読み」ができないから…と諦めさせてしまったり、その他の学習方法（合理的配慮）を色々試してみても、子どもたちの可能性を広げたいものです。

「読み」の難しさについてたくさん紹介しましたが、この他にも「書くこと」が難しい子どもたちへの支援として、板書されたものを写真に撮って、あとでゆっくりノートにまとめたり、そのまま印刷してノートに貼るといった支援は以前からよく行われています。「書く量を減らす」ためにプリントを使ったり、学習のまとめをタブレットで行っている学級も多く見られます。タブレットでは、キーボード入力が難しくても、スマホのようなフリック入力もでき、鉛筆では表現できなかったそれぞれの思いや考えを知ることができているようです。担任の先生方のICT活用のすごさに感動と同時に焦りを感じています。



このようなその子どもにあった支援方法を探ってみたり、ストレスマネジメントやソーシャルスキルについて学ぶ場所が通級指導教室です。通級指導教室で学んだことを生かして、自分の学級での学習や日常生活をさらに豊かにしていくことが目標です。通常学級に在籍していて、日常的に支援が必要なわけではないけれども、学習や生活面で一部支援が必要という場合に利用できます。

ただ、築山小学校タイプの通級指導教室は月に1回から週に8回程度が標準とされている中で、利用者数も多く、月に1回から2回程度の利用状況となっています。担当としてももどかしいところです。



後期の子育て学習会のご案内

今月初めに後期の子育て学習会について、案内を配付しました。「我が子の発達や行動面に気がかりがある」といった悩みを持つ保護者の皆さんや、そのような子どもたちを支援している先生方が参加されています。申し込み締切を来週末までとしていますので、よろしくお願ひします。参加について悩まれている方は遠慮なく本島までご相談ください。築山小ホームページにも掲載しています。